

# 平成 28 年度事務事業評価表 (一般用)

事務事業名		092302	ふれあい収集事業(西部クリーンセンター)	担当部課	092300	2948-3141
事業コード				西部クリーンセンター	収集課	
092302				グループ	収集グループ	
開始年度		平成 17 年度	終了年度	年度		

事業の概要	事業の種類	自治事務	法定受託事務	法定受託 + 附加	根拠法令
	分野別計画・指針	所沢市一般廃棄物処理基本計画			廃棄物の処理及び清掃に関する法律 所沢市ふれあい収集実施要綱
	関連・類似事業	ふれあい収集事業(東部クリーンセンター):東部クリーンセンター収集事務所			
	総合計画の体系	章 環境・自然	節 廃棄物の減量・資源の循環	基本方針	環境に配慮したごみ処理体制の推進
事業開始の背景	高齢化社会に対応した市民サービスの一環として、ふれあい収集事業を平成17年4月1日より開始した。				

事業の内容	目的(どのような効果を目指して実施しているのか、具体的に)					
	高齢または障害等により、自らごみ集積所にごみを排出することが困難な者に、市が直接戸口先においてごみ収集を行う。					
	対象(誰を、何を対象としているのか)	対象数	単位	平成 26 年度	272	世帯
	・要支援2以上の高齢単身者 ・2級以上の身体障害単身者 ・その他			平成 27 年度	262	世帯
事業の具体的な内容及び実施方法	<p>「家庭の資源とごみの分け方・出し方」の分別方法に従い分別されたごみを、1週間に1度指定した曜日に自宅の戸口先にて収集する。          [月曜日]小手指・向陽・若狭地区[火曜日]三ヶ島・若狭・東狭山ヶ丘地区[水曜日]上山口・山口・荒幡地区[木曜日]北野・上新井・西所沢・小手指地区          [金曜日]緑町・花園・下富地区          利用者からの希望があった場合は、収集と同時に利用者に声をかけ安否確認を行う。</p>					

経費	会計種別	一般会計	平成 26 年度 (千円)	平成 27 年度 (千円)	平成 28 年度 (千円)
	予算現額		369	255	203
	決算(見込み含む)		342	2,834	
	(非常勤特別職員) (臨時的任用職員)	( 人) ( 人) ( 人) ( 0.30 人)			
	正規職員人件費	3.67 人	32,006	2.65 人	22,949
	事業費合計		32,348	25,783	
財源内訳	一般財源	32,348	25,783	203	「財源内訳」について 平成28年度のみ、当初予算 の内訳となっています。
	国・県支出金				
	その他( )				

実績	項目名	項目説明	単位	H 26	H 27	H28見込み	将来目標	
	活動実績	年間利用者数	利用者数	世帯	272	262	280	280
		年間利用予定者数			世帯	272	262	280

成果	項目名	項目説明	単位	H 26	H 27	H28目標値	将来目標	
	成果指標	利用実績率	利用者数 ÷ 年間利用予定者数	世帯	目標値	272	262	280
					実績	272	262	<input checked="" type="checkbox"/> 実績拡大図 <input type="checkbox"/> 実績縮小図
目標達成状況	どれだけ目標に近づいているかを達成率として示しています		%	達成率	100	100	どちらかを チェックしてください	

改善点	(1)平成27年度中に改善した点(改善内容・その結果について記載してください)	(2)平成27年度成果指標の目標値が未達成の理由・分析
	利用者は高齢者や障害のある方が多く、近年増加傾向にある反面、施設に入所したり、入院するなどの理由から利用を中止・休止する方も多い。 このため、収集軒数が曜日によりばらつきが出るため、平均的になるよう随時見直しを行った。	

評価	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 終了	事業実施方法(複数選択可)	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> その他	理由	超高齢社会において「ふれあい収集」のニーズが高まっており、利用者の増加に伴い、改善・効率化を図る必要がある。
		次年度予算	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	理由	超高齢社会において、これからも必要なサービスであり、車両等の維持経費がかかる。
評価	(1)平成28年度に取り組んでいる状況			(2)今後の方向性	
	担当職員の退職を控え、新たな収集担当職員を養成していくとともに、収集体制の整備を図る。	委託拡大計画に基づき、平成32年度までに窓口の一元化を図るなど、市民サービスの向上に取り組んでいく。			
評価日	H28.7.18	評価者職氏名	収集課長 丸山昌行		

環境影響	有益な環境影響		有害な環境影響を及ぼす原因活動	車両の使用	規制を受ける環境法令等	無
					緊急事態	無